



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 月島機械株式会社

上場取引所 東

コード番号 6332

URL <http://www.tsk-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長兼経営企画部長 (氏名) 高野 亨

TEL 03-5560-6521

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 40,912 | △21.0 | 979 | △55.0 | 1,287 | △47.7 | 1,959 | 60.4 |
| 25年3月期第3四半期 | 51,782 | 24.4 | 2,175 | 715.0 | 2,463 | 392.5 | 1,221 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,387百万円 (120.0%) 25年3月期第3四半期 2,448百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | 44.01 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 27.43 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 92,562 | 55,041 | 59.1 |
| 25年3月期 | 92,095 | 50,344 | 54.3 |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 54,672百万円 25年3月期 50,053百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 7.00 | — | 8.00 | 15.00 |
| 26年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 8.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 75,000 | △6.1 | 5,000 | 13.1 | 5,200 | 10.9 | 4,100 | 73.0 | 92.12 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 26年3月期3Q | 45,625,800 株 | 25年3月期 | 45,625,800 株 |
| 26年3月期3Q | 1,118,181 株 | 25年3月期 | 1,113,975 株 |
| 26年3月期3Q | 44,509,619 株 | 25年3月期3Q | 44,512,415 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | P. 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 8 |
| 四半期連結損益計算書 | P. 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | P. 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 10 |
| (セグメント情報等) | P. 10 |
| 4. 補足情報 | P. 12 |
| 受注、売上及び受注残高の状況 | P. 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、景気が緩やかに回復している中、国内では設備投資需要が持ち直しの動きを見せました。海外においては、アジア地域を主体として引き続き設備投資需要は底堅く推移しました。

このような環境の下で当社グループは、平成25年度を初年度とする3ヶ年の新しい中期経営計画をスタートさせ、「環境・エネルギー分野への注力」と「海外ビジネスの拡大」、「全社的なコストダウン」をキーワードに事業活動を展開してまいりました。

水環境事業においては、国内上下水道案件の増設更新需要の取り込みや施設の運転管理、維持管理業務を受注することで事業のペースロードを確保するとともに、設備の建設と長期の維持管理業務が一体となったPFI(*1)、DBO(*2)事業の営業活動を展開してまいりました。一方、産業事業においては、国内外におけるプラントおよび単体機器、さらには、環境関連設備の営業活動を展開してまいりました。また、手持工事の完成に向けて尽力すると共に、価格競争力確保のために諸施策を継続して展開し、工事採算の向上を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

受注高は569億47百万円(前年同期比119億88百万円の増加)、売上高は409億12百万円(前年同期比108億69百万円の減収)となりました。また、損益面につきましては、営業利益は9億79百万円(前年同期比11億96百万円の減益)、経常利益は12億87百万円(前年同期比11億75百万円の減益)となり、四半期純利益は固定資産売却益の計上もあり19億59百万円(前年同期比7億37百万円の増益)となりました。

なお、前年同期に比較し、売上高の減収、営業利益および経常利益に減益が生じているのは、前年同期に産業事業において数件の大口案件が計上された反動によるものであります。

*1:PFI (Private Finance Initiative)

施設整備を伴う公共サービスにおいて、民間の有する資金、技術、効率的な運用ノウハウなどを活用する仕組み。

*2:DBO (Design Build Operate)

事業会社に施設の設計 (Design) 、建設 (Build) 、運営 (Operate) を一括して委ね、施設の保有と資金の調達を行政が行う方式。

当社グループは、上下水道設備を主要マーケットとする水環境事業と、化学、鉄鋼、食品等の産業用設備および廃液や固形廃棄物処理等環境関連設備を主要マーケットとする産業事業の2つを主たる事業と位置付けており、それら以外の事業をその他としておりますが、その主要な事業内容は以下のとおりであります。

| 事業区分 | 主要な事業内容 |
|-------|---|
| 水環境事業 | 1) 浄水場・下水処理場等プラントの設計・建設 2) 上記プラントに使用される脱水機、乾燥機、焼却炉等各種単体機器の設計・製造・販売 3) 浄水場・下水処理場におけるPFI、DBO事業 4) 浄水場・下水処理場設備の運転・維持管理・補修およびこれらに付随する業務 |
| 産業事業 | 1) 化学、鉄鋼、食品等プラントの設計・建設 2) 上記プラントに使用される晶析装置、ろ過機、分離機、乾燥機、ガスホルダ等各種単体機器の設計・製造・販売 3) 廃液・廃水・固形廃棄物処理等プラントの設計・建設 4) バイオマスエタノール製造プラントの設計・建設 5) 真空技術応用装置および関連部品の設計・製造・販売 6) 一般・産業廃棄物処理事業 |
| その他 | 1) 大型図面・各種書類等の印刷・製本 2) 事務所ビル・駐車場等の不動産管理・賃貸 |

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

(水環境事業)

水環境事業においては、公共投資は底堅い動きを見せております。また、複数年および包括O&M業務(*3)や設備建設と長期の維持管理業務を一体化したPFI、DBO事業等の発注は引き続き増加しております。

このような状況の下で当社グループは、国内では次世代型汚泥焼却設備を中心とした汚泥処理設備の増設・更新需要の取り込みと、汚泥燃料化システム等の新製品を活用したPFI、DBO事業およびO&M業務の営業活動を展開してまいりました。海外においては、水インフラ市場の開拓や汚泥処理設備の営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における水環境事業の受注高は364億84百万円(前年同期比121億17百万円の増加)となり、売上高は246億48百万円(前年同期比20億59百万円の減収)となりました。営業利益は4億63百万円(前年同期比4億62百万円の増益)となりました。

*3：包括O&M業務

設備の運転管理業務だけでなく、設備の補修工事および薬品等の供給も含めた包括的な維持管理業務。

(産業事業)

産業事業においては、国内は各分野における設備投資に持ち直しの動きが続いております。一方、海外においては、新興国および資源国の設備投資は一定の投資需要が継続しております。

このような状況の下で当社グループは、国内外における各種プラント設備および分離機、ガスホルダ等の単体機器の営業活動を展開してまいりました。特に当第3四半期連結会計期間においては、国内および海外の鉄鋼および食品分野における設備投資需要および更新需要の取り込みに注力し、受注ボリュームの確保を推進してまいりました。また、環境関連においては、国内および海外向けに廃液燃焼システムや固形廃棄物焼却設備等の営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における産業事業の受注高は203億95百万円(前年同期比1億65百万円の減少)となり、売上高は161億96百万円(前年同期比88億48百万円の減収)となりました。営業利益は4億42百万円(前年同期比16億97百万円の減益)となりました。

(その他)

その他においては、当第3四半期連結累計期間における受注高は67百万円(前年同期比37百万円の増加)となり、売上高は67百万円(前年同期比37百万円の増収)となりました。営業利益は73百万円(前年同期比38百万円の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は925億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億67百万円増加しました。これは主に、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少115億50百万円等はあったものの、現金及び預金が7億48百万円、仕掛品が36億44百万円、その他流動資産が22億44百万円および株式時価評価等により投資有価証券が57億11百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は375億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億29百万円減少しました。これは主に、前受金の増加26億41百万円等はあったものの、支払手形及び買掛金が52億52百万円、賞与引当金が8億89百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は550億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億96百万円増加しました。これは主に、剰余金の配当等による減少はあったものの、四半期純利益の計上等により利益剰余金が12億90百万円、株式時価評価によりその他有価証券評価差額金が32億92百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年10月28日に「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,905 | 17,653 |
| 受取手形及び売掛金 | 34,126 | 22,575 |
| 有価証券 | 6,000 | 6,000 |
| 仕掛品 | 2,678 | 6,323 |
| 原材料及び貯蔵品 | 127 | 117 |
| その他 | 3,079 | 5,324 |
| 貸倒引当金 | △205 | △189 |
| 流動資産合計 | 62,712 | 57,804 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 12,848 | 12,544 |
| 無形固定資産 | 639 | 612 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 14,299 | 20,011 |
| その他 | 1,803 | 1,725 |
| 貸倒引当金 | △208 | △135 |
| 投資その他の資産合計 | 15,894 | 21,601 |
| 固定資産合計 | 29,383 | 34,758 |
| 資産合計 | 92,095 | 92,562 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,758 | 9,506 |
| 短期借入金 | 50 | 94 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 396 | 383 |
| 未払法人税等 | 1,043 | 606 |
| 前受金 | 4,390 | 7,032 |
| 賞与引当金 | 1,723 | 833 |
| 完成工事補償引当金 | 1,570 | 1,285 |
| 工事損失引当金 | 448 | 324 |
| その他 | 5,692 | 4,194 |
| 流動負債合計 | 30,073 | 24,260 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,603 | 3,310 |
| 退職給付引当金 | 5,826 | 5,999 |
| 役員退職慰労引当金 | 83 | 87 |
| その他 | 2,164 | 3,864 |
| 固定負債合計 | 11,676 | 13,261 |
| 負債合計 | 41,750 | 37,521 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,646 | 6,646 |
| 資本剰余金 | 5,485 | 5,485 |
| 利益剰余金 | 36,262 | 37,553 |
| 自己株式 | △594 | △598 |
| 株主資本合計 | 47,800 | 49,087 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,277 | 5,569 |
| 繰延ヘッジ損益 | △39 | △37 |
| 為替換算調整勘定 | 15 | 52 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,253 | 5,585 |
| 少数株主持分 | 291 | 369 |
| 純資産合計 | 50,344 | 55,041 |
| 負債純資産合計 | 92,095 | 92,562 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|------------------------|--|--|
| 売上高 | 51,782 | 40,912 |
| 売上原価 | 42,592 | 32,779 |
| 売上総利益 | 9,189 | 8,132 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 見積設計費 | 728 | 756 |
| 役員報酬及び従業員給与・諸手当・賞与・福利費 | 2,911 | 3,013 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | 12 |
| 賞与引当金繰入額 | 173 | 225 |
| 退職給付引当金繰入額 | 160 | 146 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 14 | 14 |
| その他 | 3,024 | 2,984 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 7,013 | 7,153 |
| 営業利益 | 2,175 | 979 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 26 | 34 |
| 受取配当金 | 288 | 253 |
| 持分法による投資利益 | 6 | 7 |
| その他 | 80 | 106 |
| 営業外収益合計 | 402 | 402 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 69 | 62 |
| その他 | 45 | 30 |
| 営業外費用合計 | 114 | 93 |
| 経常利益 | 2,463 | 1,287 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 2,710 |
| 投資有価証券売却益 | 198 | — |
| 特別利益合計 | 199 | 2,710 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 32 | 89 |
| 投資有価証券評価損 | 490 | — |
| 本社移転費用 | — | 320 |
| 移転費用 | — | 236 |
| その他 | 19 | 1 |
| 特別損失合計 | 542 | 648 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,119 | 3,350 |
| 法人税等 | 843 | 1,325 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,275 | 2,024 |
| 少数株主利益 | 54 | 65 |
| 四半期純利益 | 1,221 | 1,959 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,275 | 2,024 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,168 | 3,292 |
| 繰延ヘッジ損益 | △9 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | 10 | 63 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 3 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 1,173 | 3,362 |
| 四半期包括利益 | 2,448 | 5,387 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,393 | 5,291 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 55 | 96 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------|------|--------------------------------|
| | 水環境事業 | 産業事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,707 | 25,044 | 51,751 | 30 | 51,782 | — | 51,782 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 13 | 4 | 18 | 451 | 469 | △469 | — |
| 計 | 26,720 | 25,049 | 51,769 | 482 | 52,251 | △469 | 51,782 |
| セグメント利益 | 1 | 2,139 | 2,140 | 34 | 2,175 | — | 2,175 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷・製本、不動産賃貸事業等および第1四半期連結累計期間の検査・分析事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------|------|--------------------------------|
| | 水環境事業 | 産業事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,648 | 16,196 | 40,844 | 67 | 40,912 | — | 40,912 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 14 | 2 | 16 | 246 | 263 | △263 | — |
| 計 | 24,662 | 16,198 | 40,861 | 314 | 41,176 | △263 | 40,912 |
| セグメント利益 | 463 | 442 | 905 | 73 | 979 | — | 979 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷・製本、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

[関連情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------|--------|--------|--------|
| 37,911 | 12,920 | 949 | 51,782 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------|-------|--------|--------|
| 34,487 | 5,508 | 917 | 40,912 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

4. 補足情報

受注、売上及び受注残高の状況

① 受注実績

| セグメントの名称 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 比較増減 | |
|----------|--|--|---------|----------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 前年同期比(%) |
| 水環境事業 | 24,366 | 36,484 | 12,117 | 49.7 |
| 産業事業 | 20,561 | 20,395 | △165 | △0.8 |
| 小計 | 44,928 | 56,879 | 11,951 | 26.6 |
| その他 | 30 | 67 | 37 | 124.3 |
| 合計 | 44,958 | 56,947 | 11,988 | 26.7 |
| 内 海外受注高 | 8,320 | 7,007 | △1,313 | △15.8 |
| 海外の割合(%) | 18.5 | 12.3 | — | — |

② 売上実績

| セグメントの名称 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 比較増減 | |
|----------|--|--|---------|----------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 前年同期比(%) |
| 水環境事業 | 26,707 | 24,648 | △2,059 | △7.7 |
| 産業事業 | 25,044 | 16,196 | △8,848 | △35.3 |
| 小計 | 51,751 | 40,844 | △10,907 | △21.1 |
| その他 | 30 | 67 | 37 | 123.2 |
| 合計 | 51,782 | 40,912 | △10,869 | △21.0 |
| 内 海外売上高 | 13,870 | 6,425 | △7,445 | △53.7 |
| 海外の割合(%) | 26.8 | 15.7 | — | — |

③ 受注残高

| セグメントの名称 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 比較増減 | |
|----------|--|--|---------|----------|
| | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 金額(百万円) | 前年同期比(%) |
| 水環境事業 | 63,958 | 70,868 | 6,910 | 10.8 |
| 産業事業 | 23,599 | 43,831 | 20,232 | 85.7 |
| 小計 | 87,557 | 114,700 | 27,142 | 31.0 |
| その他 | — | — | — | — |
| 合計 | 87,557 | 114,700 | 27,142 | 31.0 |
| 内 海外受注残高 | 13,754 | 30,430 | 16,676 | 121.2 |
| 海外の割合(%) | 15.7 | 26.5 | — | — |